

茨木市緑の基本計画

改定版案

資料編

令和8年 月 改定

茨 木 市

茨木市緑の基本計画 改定版 素案
目 次

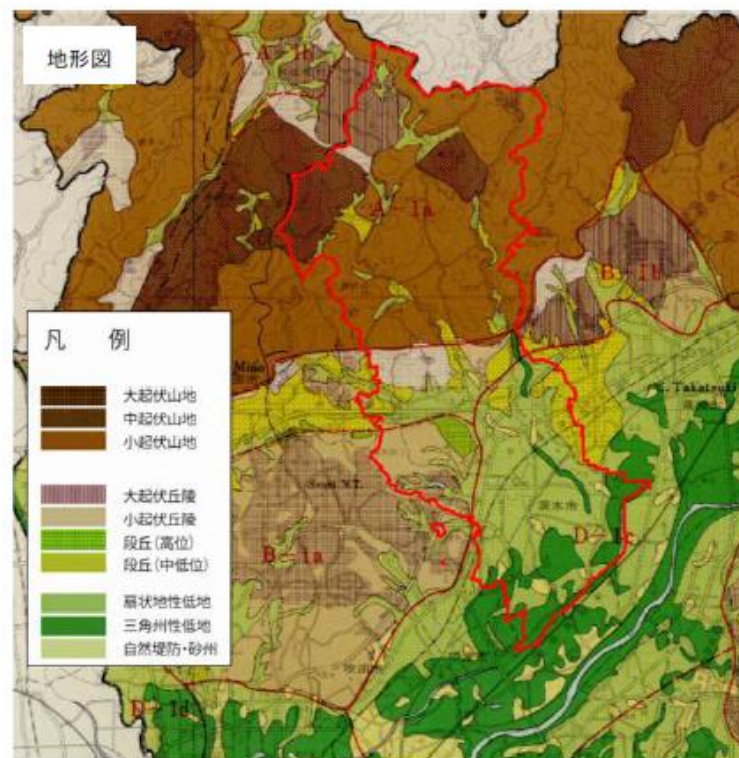
参考資料 1	茨木市のみどりの現状および特性	1
1)	地形・地質.....	1
2)	気象・気候.....	2
3)	現況植生.....	2
4)	人口特性.....	4
参考資料 2	市民アンケート結果	5
1)	調査概要.....	5
2)	調査結果.....	6
参考資料 3	改定の経緯	26
参考資料 4	茨木市みどりの施策推進委員会 委員名簿	27

参考資料1 茨木市のみどりの現状および特性

本市のみどりに関連する参考資料を以下に示します。

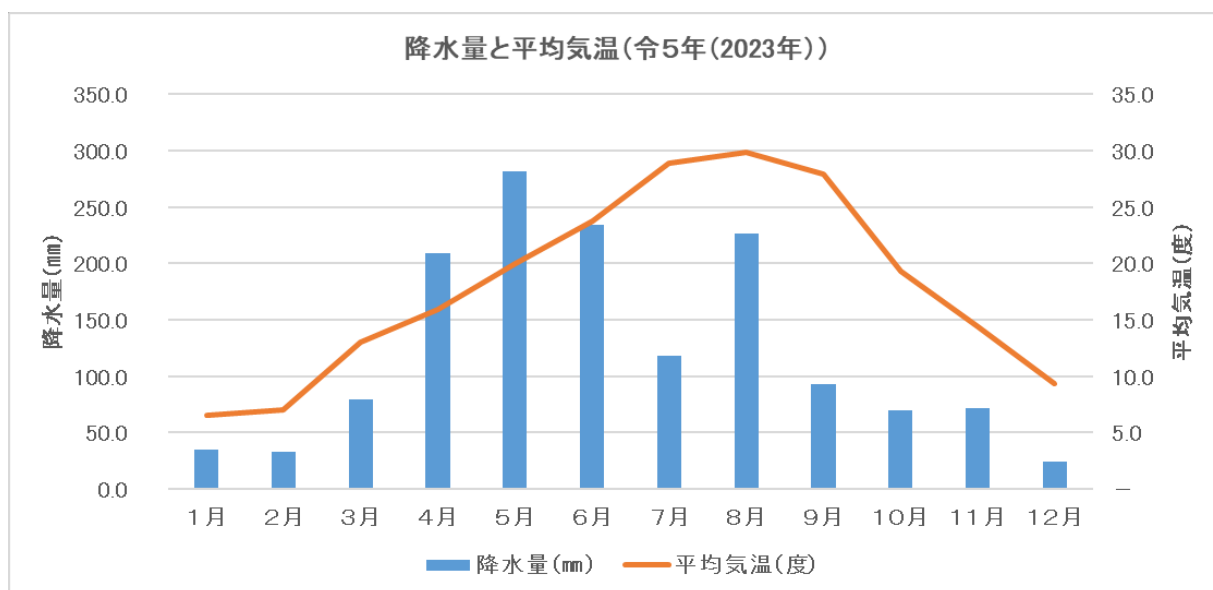
1) 地形・地質

- 地形は、丹波高原の一部をなしている老の坂山地南部に、南北に長く位置しています。
- 市域の北半分の山地部は、竜王山（510m）がそびえ、石堂ヶ岡（680.5m）が最高標高地点となっています。地質は、丹波層群の砂岩、泥岩、砂岩・泥岩互層や花崗岩が混在しています。
- 市域の南半分は、大阪平野の一部をなす三島平野となっており、そのほとんどが市街地化されています。平野部の最低標高は3mで、市街地の平均標高は10mです。



2) 気象・気候

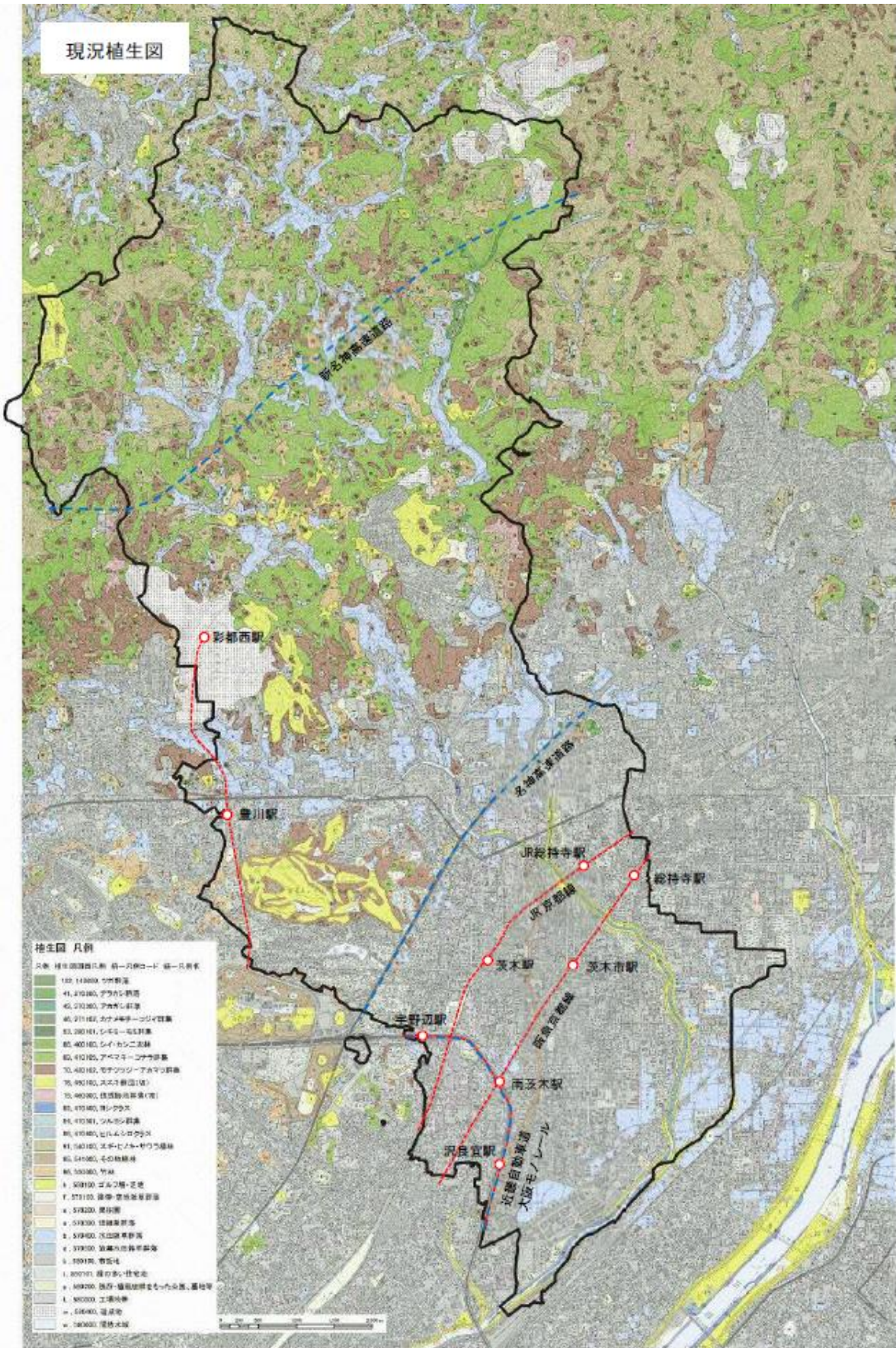
- 気候は穏やかな瀬戸内気候区に属し、日照が多く比較的温暖な気候です。
- 令和5年(2023年)の年間の平均気温は18.0℃となっており、令和元年(2019年)の年間の平均気温17.6℃から0.4℃上昇しています。
- 令和5年(2023年)の降水量は多い月で281.5mmとなっており、令和元年(2019年)の最も多い月の355.5mmより74mm減少しています。一方、令和5年(2023年)の降水量の年間総量は1,343mmとなっており、令和元年(2019年)年間総量1,219mmより124mm増加しています。
- 令和5年(2023年)の日最大風速は1≧10m/sとなっており、日照時間は2,324時間/年となっています。



(出典：茨木市統計書令和6年版(降水量：茨木地域気象観測所の観測値、平均気温：大阪管区気象台の観測値))

3) 現況植生

- 森林は、気候の影響によりほとんどが暖帯林に属しています。天然林が多く、クヌギ・コナラ等の広葉樹林が見られ、暖帯林本来のシイ・カシ林はわずかに存在する程度です。
- また、安威川上流の竜仙峡付近に、アラカシ群落広がっており、大阪府下では貴重な群落となっています。
- 北部には人工林があり、スギ、ヒノキが植林されています。

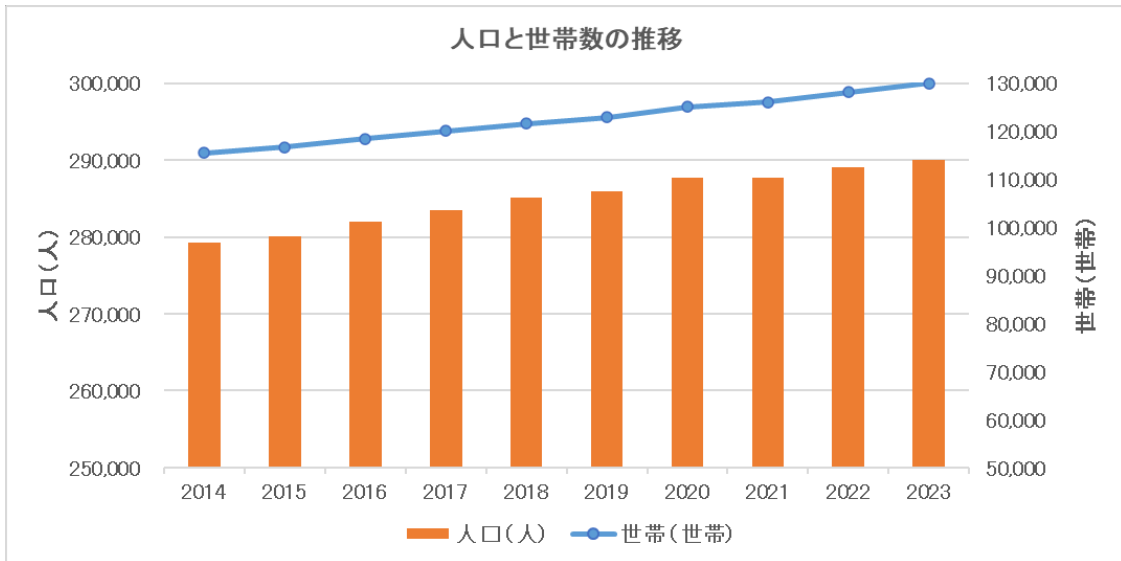


現存植生図

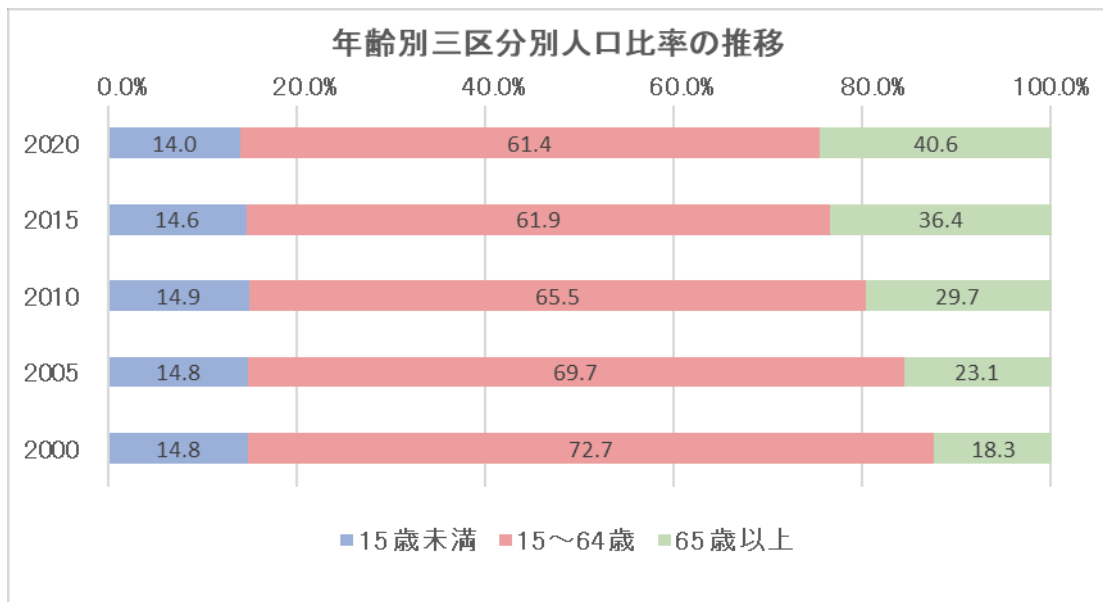
(出典：第6回 環境保全基礎調査 平成11年(1999年)～平成16年(2004年)調査)

4) 人口特性

- 本市の人口は、大正9年(1920年)に実施された第1回調査から増加し続けており、令和5年(2023年)の人口は、290,074人です。
- 世帯数も増加傾向にあり、令和5年(2023年)の世帯数は129,966世帯です。しかしながら、1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、核家族世帯及び単独世帯が増加し続けており、世帯規模の縮小化が引き続き進んでいます。
- 高齢者も増加しており、令和2年(2020年)には、人口の65歳以上の割合が40%以上になっています。



(出典：茨木市統計書令和6年版)



(出典：茨木市統計書令和6年版)

参考資料2 市民アンケート結果

みどりに関する市民意識・意向を反映させた計画とするため、本市のみどりに関する市民アンケートを実施しました。その調査概要と調査結果を以下に示します。

1) 調査概要

■調査目的

茨木市の公園・緑地などのみどりについて、市民のみどりに対する意識や関わり、今後のみどりのあり方、市民ニーズなど、みどりのまちづくりに関する市民意識の把握

■調査対象

18歳以上の市内在住者 3,000人（住民基本台帳による層化無作為抽出）

■回答方法

郵送によるアンケート票の配布、紙もしくはウェブフォームによる回答

■調査期間

令和6年（2024年）9月13日（金）発送、10月18日（金）回答締切

■回収数・回収率

回収数：1,048票（回収率：34.9%）

■設問項目

I お住まいの地域の緑について

問1 多いと思う緑

問2 緑が増えたと思うか

問3 緑に対する満足度

II 茨木市全体の緑について

問4 多いと思う緑

問5 緑が増えたと思うか

問6 緑に対する満足度

問7 緑に対して望むこと

問8 特に守り育てる必要があると思う緑

III 緑との関わり

問9 現在参加している、今後参加してみたいこと

問10 問9の理由

問11 支援してほしいこと

IV 公園との関わり

問12 公園の利用頻度

問13 よく利用する茨木市内の公園

問14 よく利用する公園の利用目的

問15 公園に対して望むこと

問16 イベントや維持管理活動などへの参加状況

問17 イベントや維持管理活動などへの参加意欲

問18 小さな公園に対する満足度

問19 小さな公園の今後の方向性

問20 利用が少ない小さな公園の今後の方針

問21 大きな公園の満足度

問22 大きな公園へのニーズ

V 元茨木川緑地について

問23 元茨木川緑地についての印象

問24 元茨木川緑地への関わりのニーズ

問25 改修に対する満足度

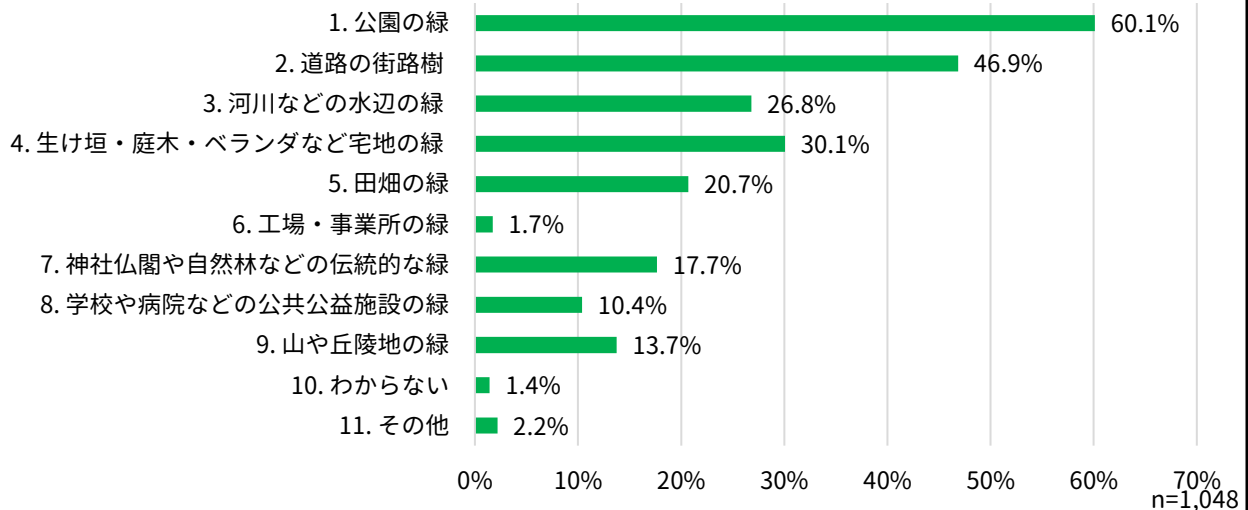
自由記述

2) 調査結果

Ⅰ お住まいの地域の緑について

問1. あなたがお住まいの地域では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

問1. 多いと思う緑（お住まいの地域）

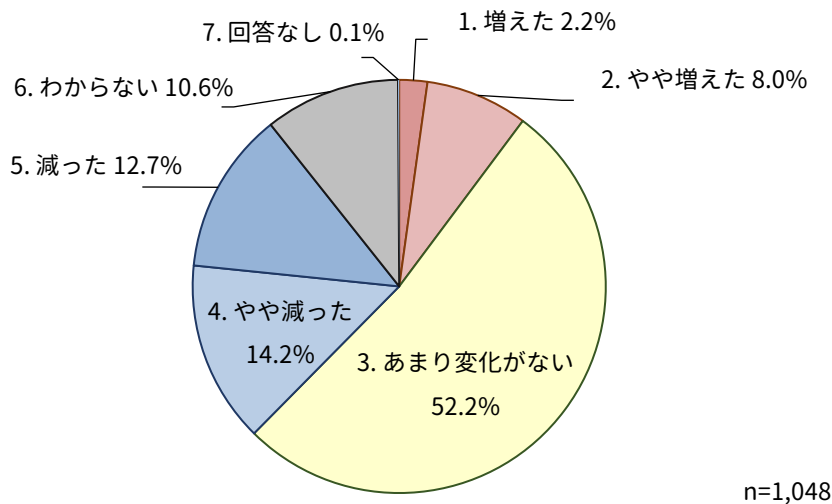


お住まいの地域で多いと思う緑は、「公園の緑」（60.1%）が最も多く、次いで「道路の街路樹」（46.0%）、「生垣・庭木・ベランダなど宅地の緑」（30.1%）、「河川などの水辺の緑」（26.8%）の回答が多く見られました。

住んでいる地域では、公園の緑や街路樹、河川など公共の緑が多いと思われています。また、私的な空間にある生垣・庭木・ベランダなどの宅地の緑も多いと思われています。

問2. ここ10年くらいで、あなたがお住まいの地域の緑は増えてきていると思いますか？（1つ選択）

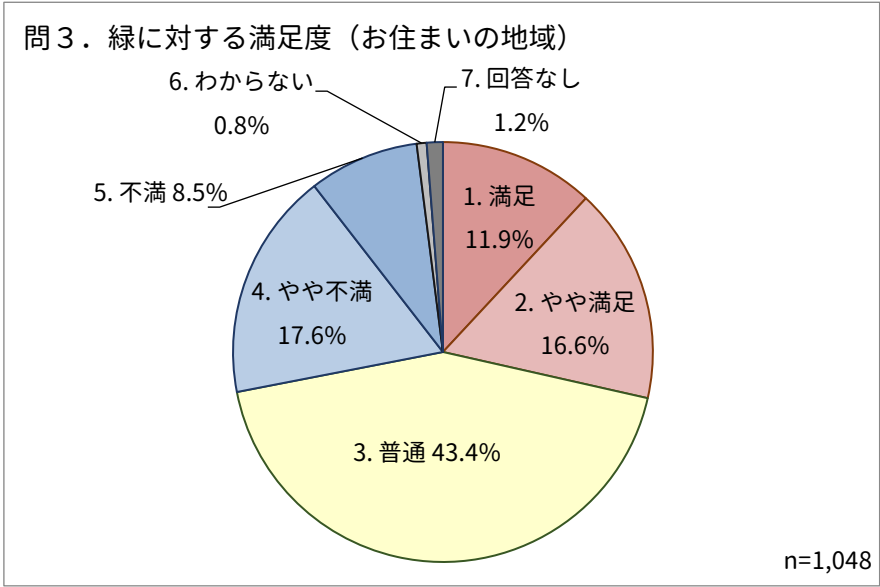
問2. 緑が増えたと思うか（お住まいの地域）



回答者の 52.2%が「あまり変化がない」と回答しています。「増えた」と「やや増えた」の回答者の合計は 10.2%で、「減った」と「やや減った」の合計 26.9%より少ない回答でした。

お住まいの地域の緑は、ここ 10 年であまり変化がないと思っている人が多く、減った・やや減ったと思っている人の方が、増えた・やや増えたと思っている人より多くおられます。

問3.あなたが住まいの地域の緑について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）



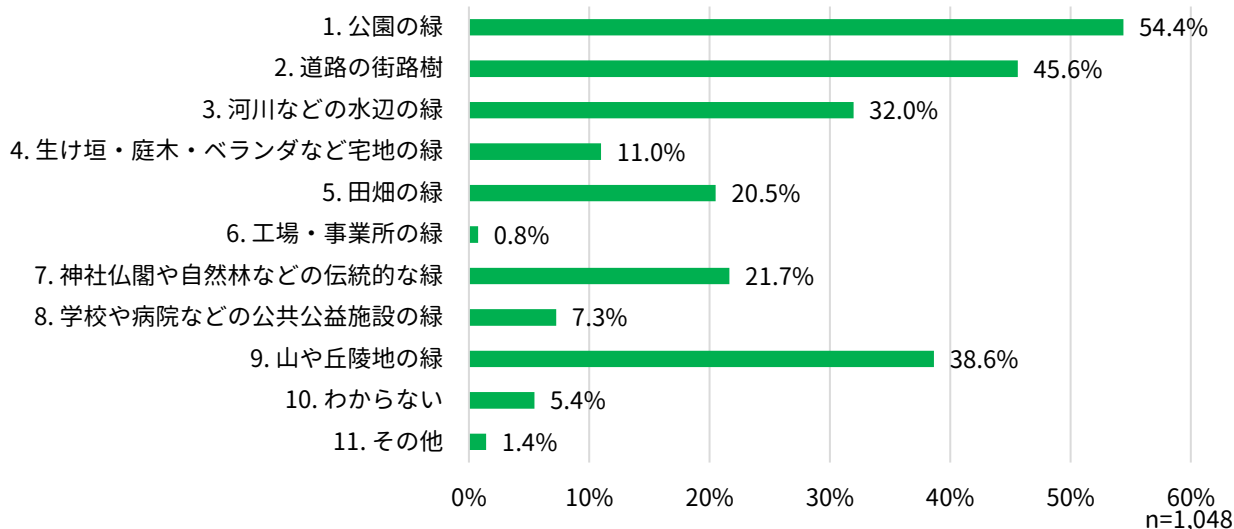
回答者の 43.4%が「普通」と回答しています。「満足」と「やや満足」の回答者の合計は 28.5%、「不満」と「やや不満」の合計は 26.1%と、同程度でした。

お住まいの地域の緑について、回答者の半数近い人が「普通」としており、満足・やや満足とされている人と、不満・やや不満とされている人が、それぞれ全体の 4分の1程度存在しています。

II 茨木市全体の緑について

問4.茨木市全体では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

問4. 多いと思う緑（茨木市全体）

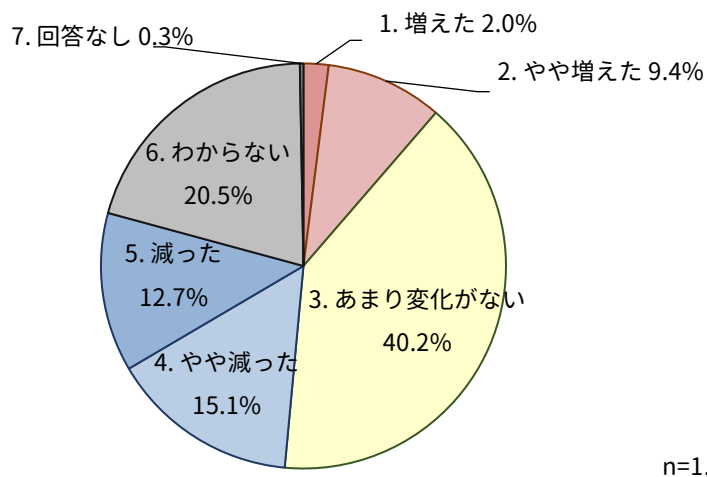


茨木市全体で多いと思う緑は、「公園の緑」（54.5%）が最も多く、次いで「道路の街路樹」（45.6%）、「山や丘陵地の緑」（38.6%）、「河川などの水辺の緑」（32.0%）の回答が多くみられました。

茨木市全体でも、お住まいの地域（問1）と同様に、公園や街路樹の緑、河川など公共の緑が多いと思われています。一方、お住まいの地域ではそれほど多くなかった「山や丘陵の緑」が、茨木市全体では3番目に多い回答となっており、茨木市全体の緑では、山や丘陵の緑が多いと思われています。

問5.ここ 10 年くらいで、茨木市全体の緑は増えてきていると思いますか？（1つ選択）

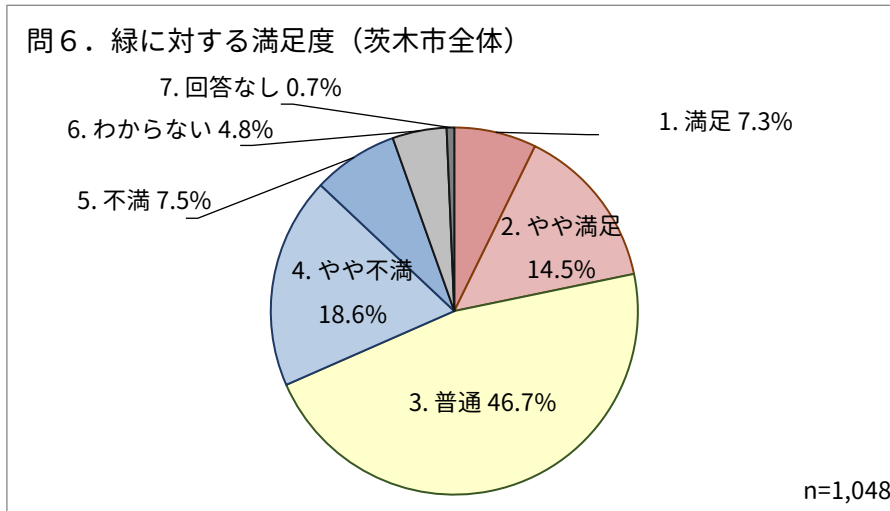
問5. 緑が増えたと思うか（茨木市全体）



回答者の 40.2%が「あまり変化がない」と回答しています。「増えた」と「やや増えた」の回答者の合計は 11.4%で、「減った」と「やや減った」の合計 27.8%より少ない回答でした。

お住まいの地域（問2）と同様に、茨木市全体の緑も、ここ 10 年であまり変化がないと思っている人が多く、減った・やや減ったと思っている人の方が、増えた・やや増えたと思っている人より多くおられます。

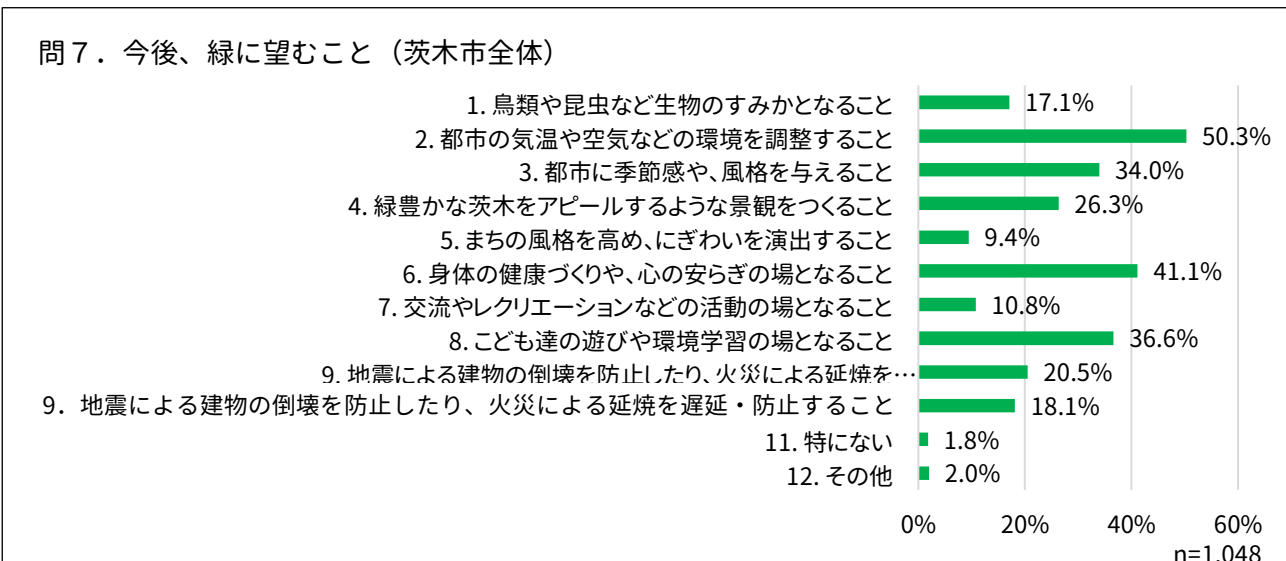
問6.茨木市全体の緑について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）



回答者の 46.7%が「普通」と回答しています。「満足」と「やや満足」の回答者の合計は 21.8%、「不満」と「やや不満」の合計は 26.1%と、同程度の回答でした。

お住まいの地域（問2）と同様に、茨木市全体の緑についても、回答者の半数近い人が「普通」としており、満足に思っている人と、不満に思っている人が、それぞれ全体の 4 分の 1 程度おられます。

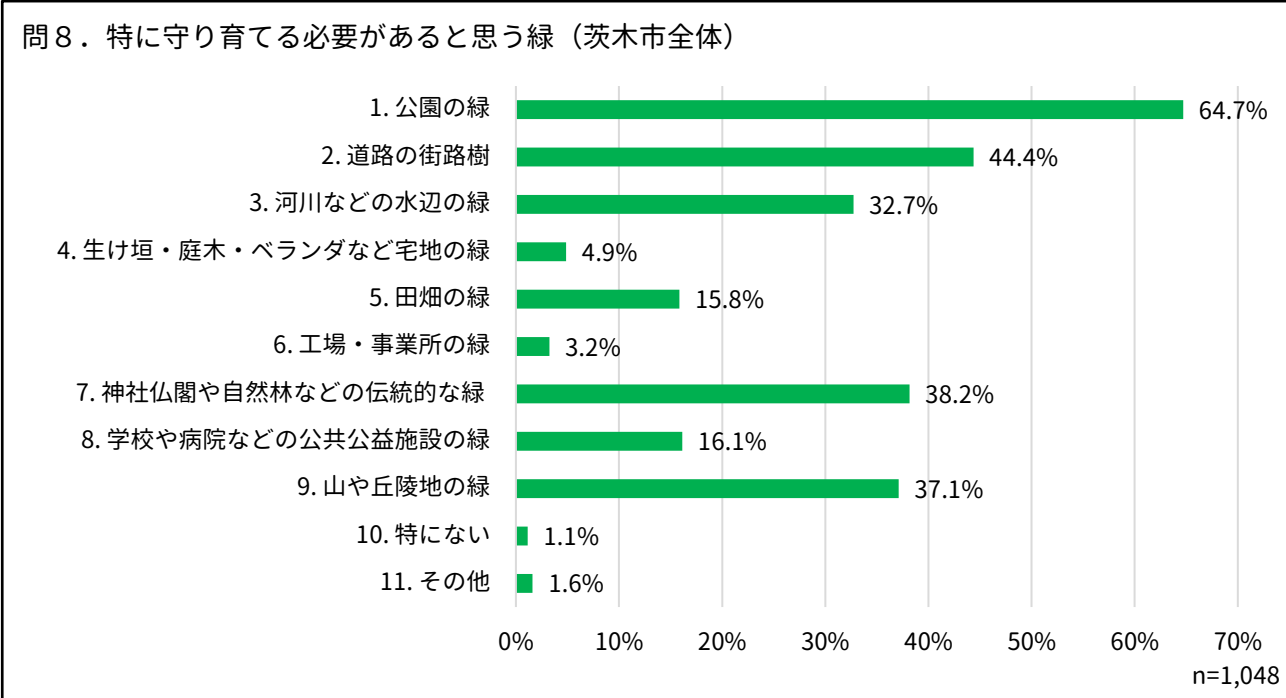
問7.茨木市の緑に対して、今後どのようなことを特に望みますか？（3つまで選択可）



今後、緑に望むことの回答は、「都市の気温や空気などの環境調整すること」(50.3%)が最も多く、次いで「身体健康づくりや、心の安らぎの場となること」(41.1%)、「子ども達の遊びや学習の場となること」(36.6%)、「都市に季節感や、風格を与えること」(34.0%)が多く回答されました。

環境改善や都市に季節感や風格を与えるという緑が存在することで得られる効果へのニーズ、健康づくりや安らぎの場、子ども達の遊び場といった日常的な利用に関するニーズが高いと考えられます。

問8.茨木市の緑のうち、特に守り育てる必要があるものは、どのような緑だと思いますか？ (3つまで選択可)



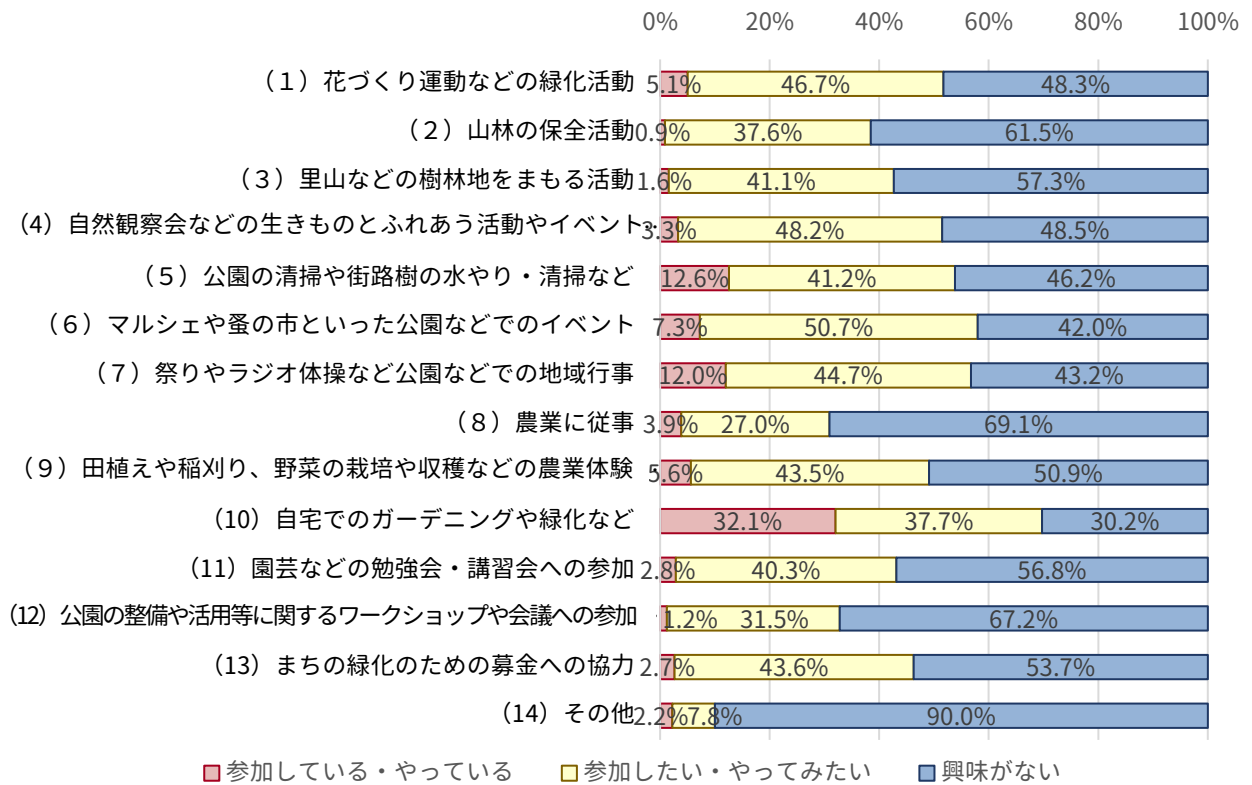
守り育てる必要がある緑は、「公園の緑」(64.7%)が最も多く、次いで「道路の街路樹」(44.4%)、「社寺仏閣や自然林などの伝統的な緑」(38.2%)、「山や丘陵地の緑」(37.1%)、「河川などの水辺の緑」(32.7%)が多い回答でした。

お住まいの地域や茨木市全体に多い緑(問1、問4)でも多く回答されていた、公園の緑や街路樹、河川といった公共の緑、山や丘陵地の緑が、特に守り育てる必要があるとされています。また、社寺仏閣など伝統的な緑についても特に守り育てる必要があるとされています。

III 緑との関わり

問9.あなたと緑の関わりについて、あなたが現在参加している（やっている）こと、今後参加してみたい（やってみたい）ことは何ですか？

問9. 現在参加している、今後参加してみたいこと



n=1,048

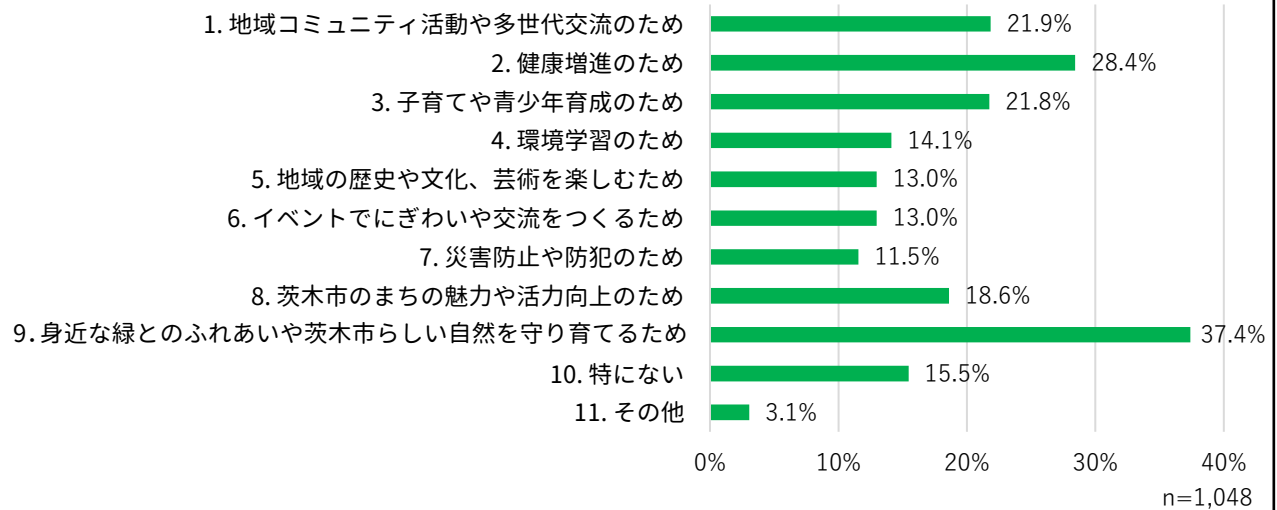
最も多い項目は「自宅でのガーデニング緑化など」で、次いで「マルシェや蚤の市といった公園などでのイベント」、「祭りやラジオ体操など公園などでの地域行事」、「公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など」、「花づくりなどの緑化活動」が多い回答でした。

また、「参加している・やっている」と「参加したい・やってみたい」の回答者の合計が40%を超える項目が、多く見られました。

緑と関わりっている市民や関わりたいと思っている市民が多くおられ、特に、緑化や公園での活動への参加ニーズが高いと考えられます。

問 10. 緑に関して「現在参加している（やっている）」「今後参加してみたい（やってみたい）」と思うことについて、その理由をお答えください。（3つまで選択可）

問10. 問9の理由

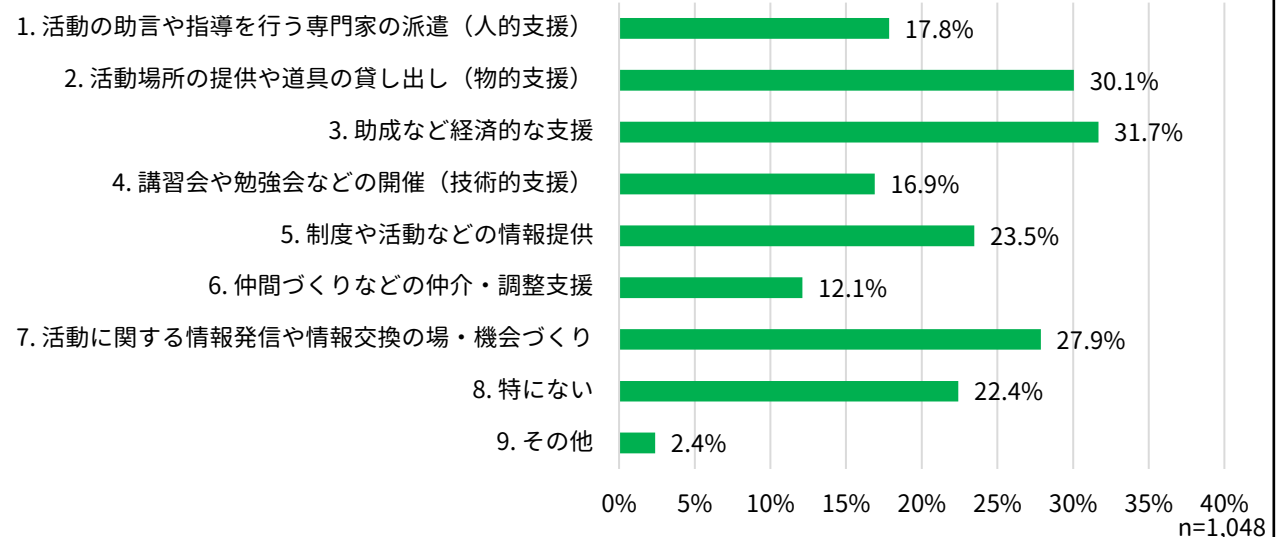


「参加している・やっている」または「参加したい・やってみたい」理由としては、「身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため」（37.4%）が最も多く、次いで、「健康増進のため」（28.4%）、「地域コミュニティ活動や多世代交流のため」（21.9%）、「子育てや青少年育成のため」（21.8%）が多い回答でした。

身近な緑とのふれあいや、茨木市らしい自然の保全、健康増進や子育てなど暮らしを通じた緑との関わりのニーズがあると考えられます。

問 11. あなたが緑と関わる上で、本市に特に支援してほしいことは何ですか。（3つまで選択可）

問11. 支援してほしいこと

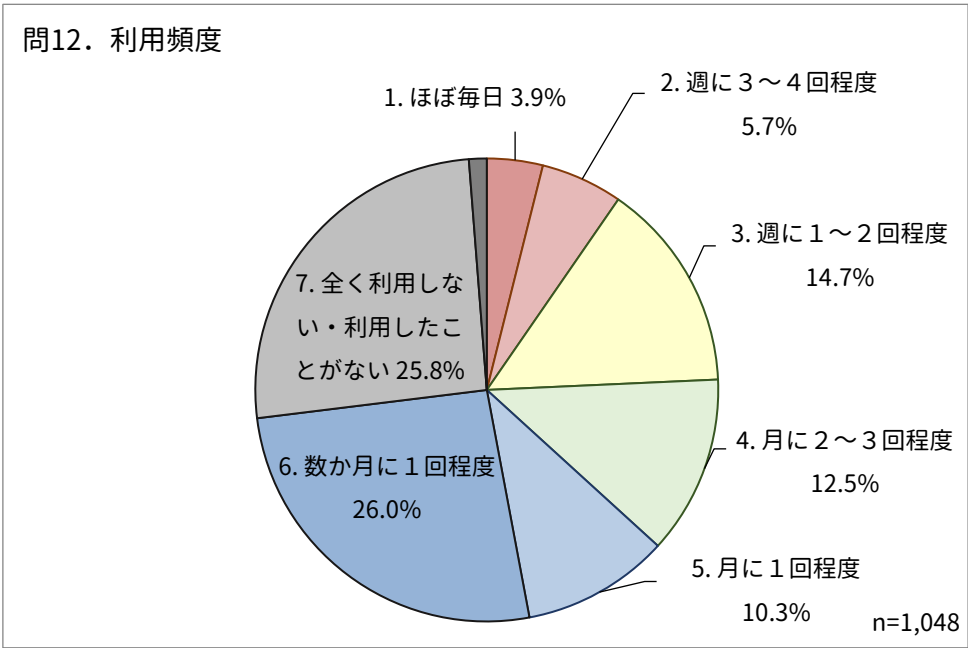


支援してほしいこととしては、「助成など経済的な支援」(31.7%)、「活動場所の提供や道具の貸し出し(物的支援)」(30.1%)、「活動に関する情報発信や情報交換の場・機会づくり」(27.9%)が多い回答でした。

緑と関わる上での支援内容では、経済的な支援、物的支援、情報発信や情報交換の場・機会づくりのニーズが高いと考えられます。

IV 公園との関わり

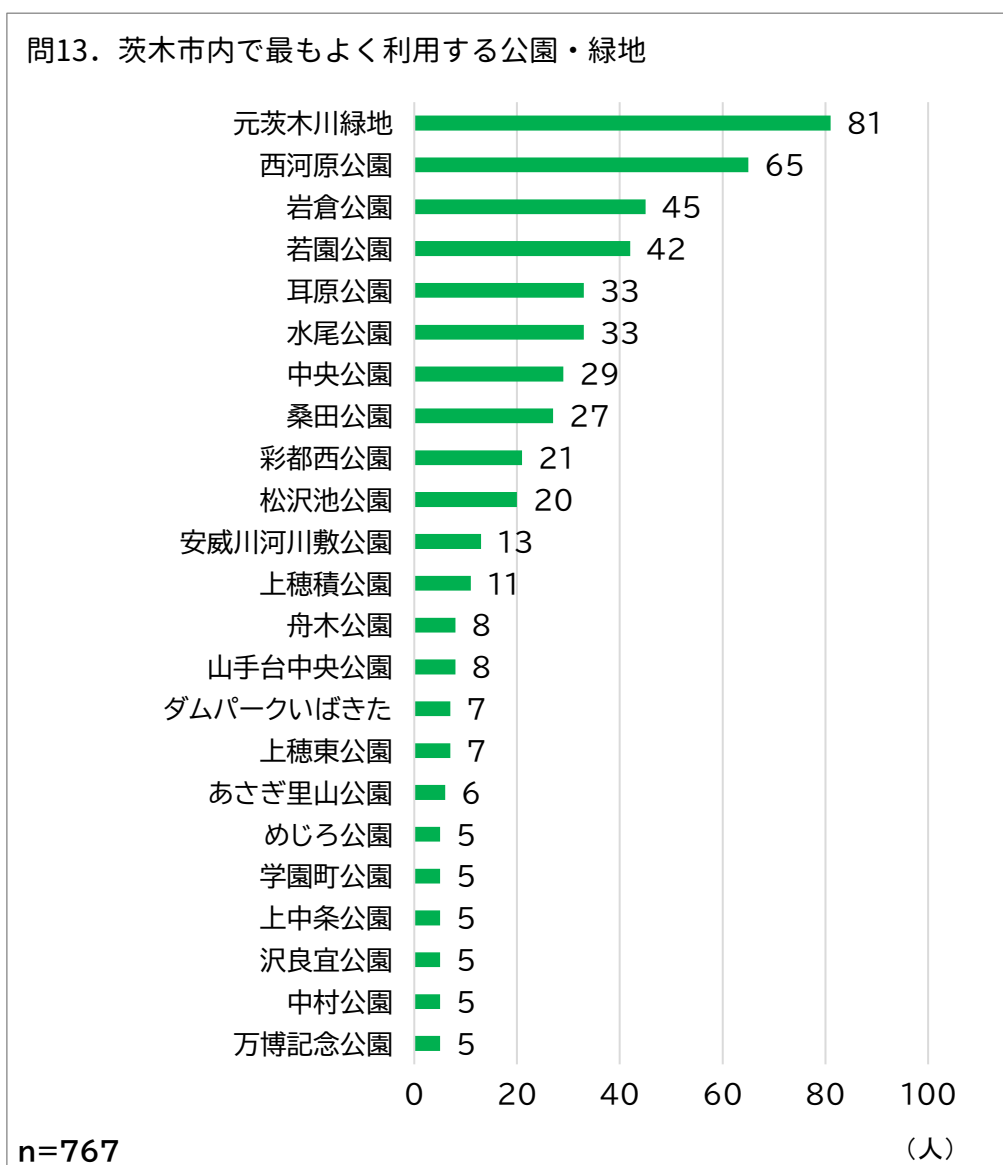
問 12.どのくらいの頻度で利用しますか？ (1つ選択)



公園の利用頻度は、「数か月に1回程度」(26.0%)が最も多く、次いで「全く利用しない・利用したことがない」(25.8%)、「週に1~2回程度」(14.7%)でした。

回答者の約70%が数か月に1回以上公園を利用しています。

問 13.問 12 で「1.ほぼ毎日」から「6.数か月に1回程度」と回答された方にお聞きします。茨木市内で最もよく利用する公園・緑地はどこですか？（自由記述）

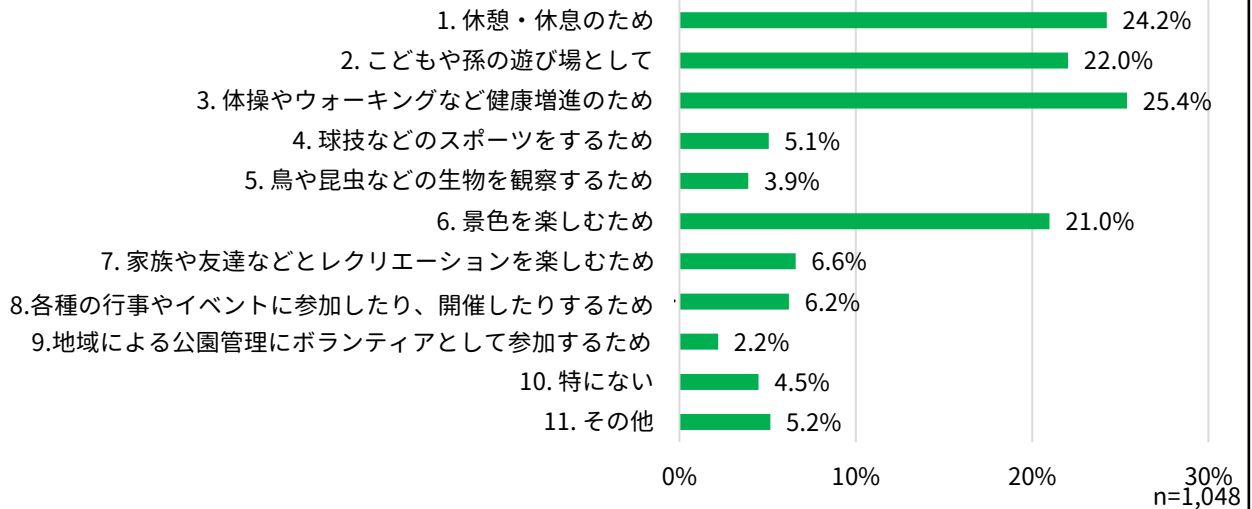


※愛称や隣接する施設名などで回答された場合は正式名称の公園緑地として集計。
 (例：「桜通り」は「元茨木川緑地」、「おにクル」は「中央公園」として集計、など)
 ※5人以上が回答した公園緑地を抜粋して表示。

最もよく利用する公園・緑地は「元茨木川緑地」(81人)が最も多く、次いで「西河原公園」(65人)、「岩倉公園」(45人)、「耳原公園」「水尾公園」(33人)、「中央公園」(29人)でした。

問 14.問 13 で回答した公園・緑地について、主にどういった目的で利用しますか？（3つまで選択可）

問14. よく利用する公園・緑地の利用目的

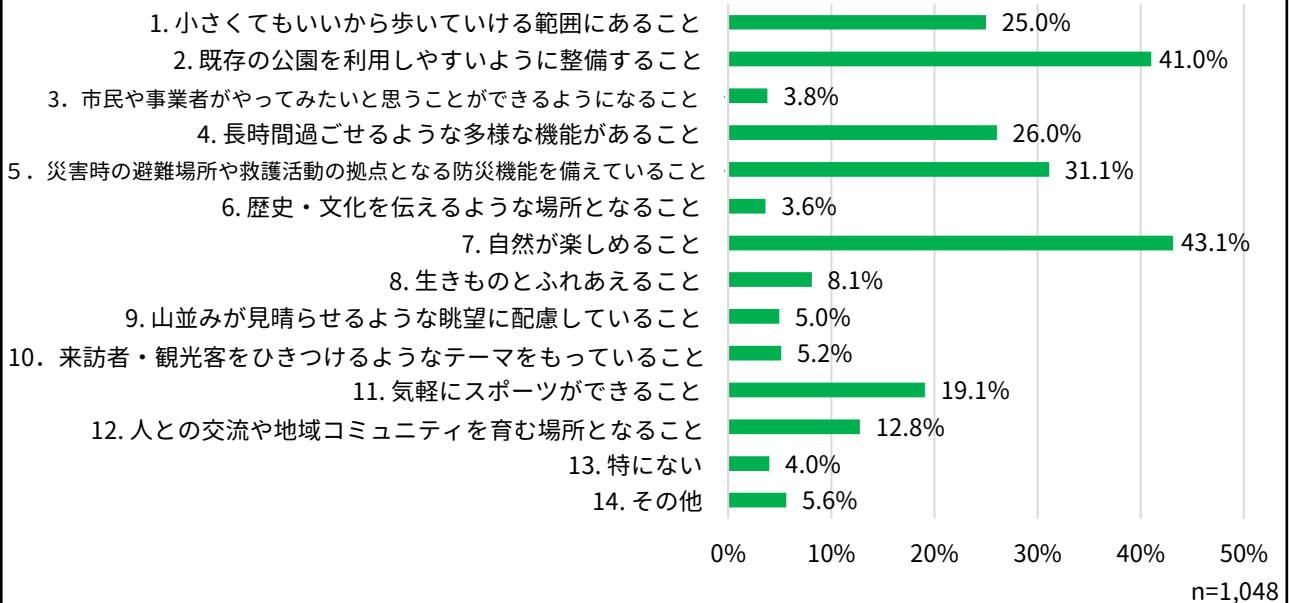


利用目的は、「体操やウォーキングなど健康増進のため」（25.4%）が最も多く、次いで「休憩・休息のため」（24.2%）、「こどもや孫の遊び場として」（22.0%）、「景色を楽しむため」（21.0%）が多い回答でした。

健康増進、休憩・休息、こどもの遊び場といった日々の暮らしの中での利用、季節の花や紅葉など景色を楽しむための利用が多いと考えられます。

問 15.茨木市の公園・緑地に対して今後どのようなことを特に望みますか？（3つまで選択可）

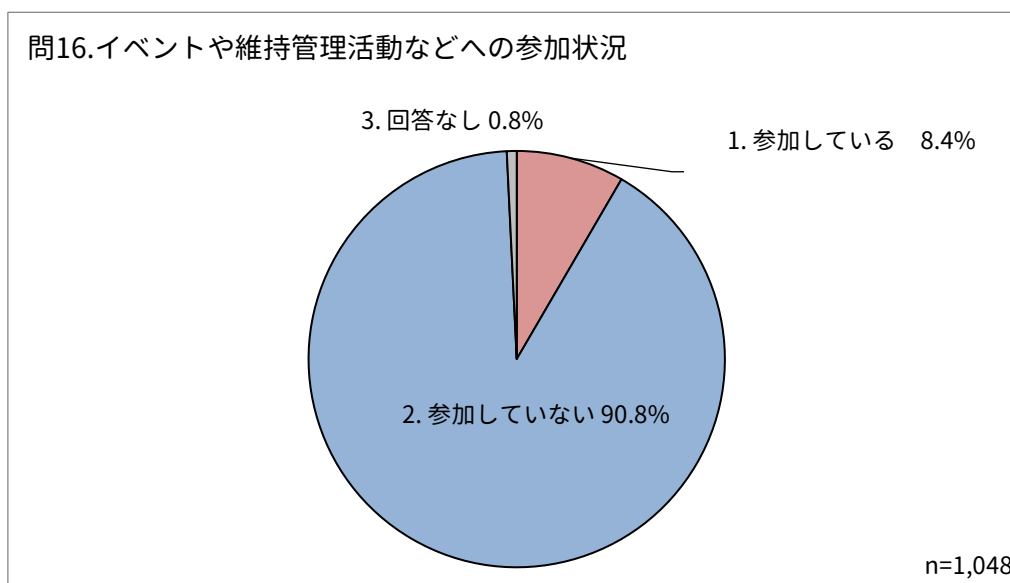
問15. 公園に対して望むこと



今後、公園・緑地に望むことは、「自然が楽しめること」(43.1%)が最も多く、次いで「既存の公園を利用しやすいように整備すること」(41.0%)、「災害時の避難場所や救護活動の拠点となる防災機能を備えていること」(31.1%)が多い回答でした。また、「小さくてもいいから歩いていける範囲にあること」(25.0%)の回答も多くみられました。

身近に公園・緑地があり、自然が楽しめることや、既存の公園の利便性や魅力の向上、防災機能の充実へのニーズが高いと考えられます。

問 16.公園・緑地でのイベントや観察会などの企画・運営、花壇づくりや清掃など維持管理活動に参加していますか？(1つ選択)

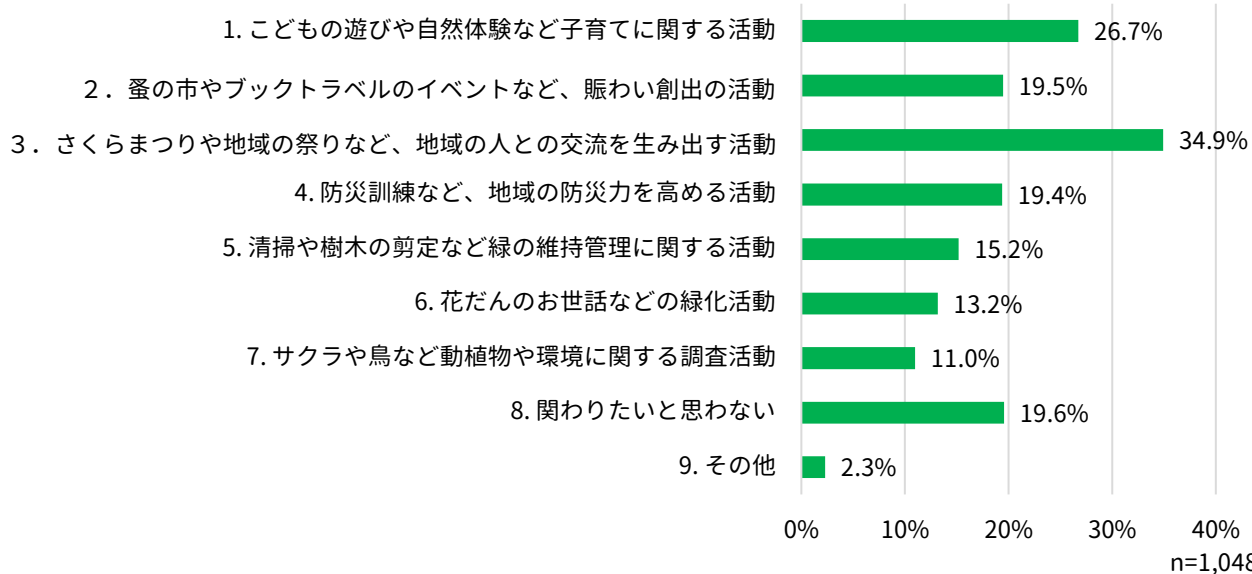


イベントや維持管理活動などへの参加状況については、回答者の約90%が「参加していない」という回答でした。

回答結果から、公園・緑地でのイベントや観察会などの企画・運営や維持管理活動への参加はほとんどされていない現状にあることがわかりました。一方で、前述問9の「現在参加していること・してみたいこと」の回答結果では、公園でのイベントや地域行事、清掃活動などへの参加ニーズが見られています。

問 17. 今後、公園・緑地の利活用や維持管理活動について、どのようなことであれば、関わっていき
たいと思いますか？（3つまで選択可）

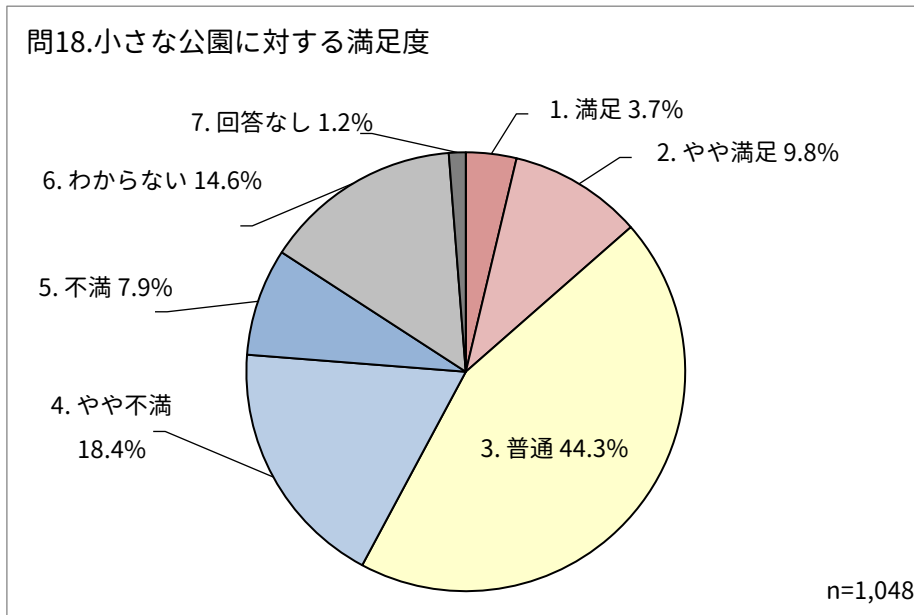
問17. イベントや維持管理活動などへの参加意欲



イベントや維持管理活動などへの参加意欲については、「さくらまつりや地域の祭りなど、地域の人との交流を生み出す活動」(34.9%)が最も多く、次いで「こどもの遊びや自然体験など子育てに関する活動」(26.7%)、「関わりたいと思わない」(19.6%)、「蚤の市やブックトラベルのイベントなど、賑わい創出の活動」(19.5%)、「防災訓練など、地域の防災力を高める活動」(19.4%)が多い回答でした。

「関わりたいと思わない」の回答者が約20%と、回答者の約80%は、何らかの活動への参加意欲があると考えられます。特に、さくらまつりなど地域交流、イベントなど賑わい創出といった地域の魅力づくりに関する活動、子育てや防災といった暮らしに関わる活動への関わりへの参加意欲が高いと考えられます。

問 18.茨木市の小さな公園（〇〇児童遊園など）について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）

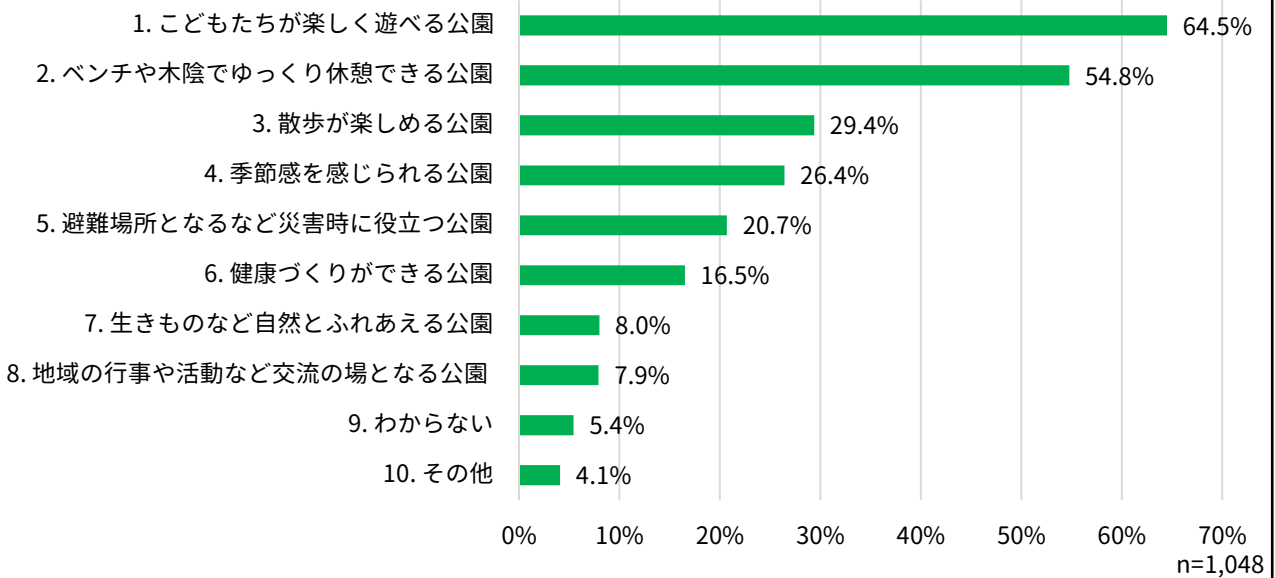


回答者の44.3%が「普通」と回答しています。「満足」と「やや満足」の回答者の合計は15.5%、「不満」と「やや不満」の合計は26.3%でした。

小さな公園について、回答者の半数近い人が「普通」と思っていますが、満足・やや満足と思っている人より、不満・やや不満と思っている人の方が多くおられます。

問 19.茨木市の小さな公園（〇〇児童遊園など）について、どのようになればよいと思いますか？（3つまで選択可）

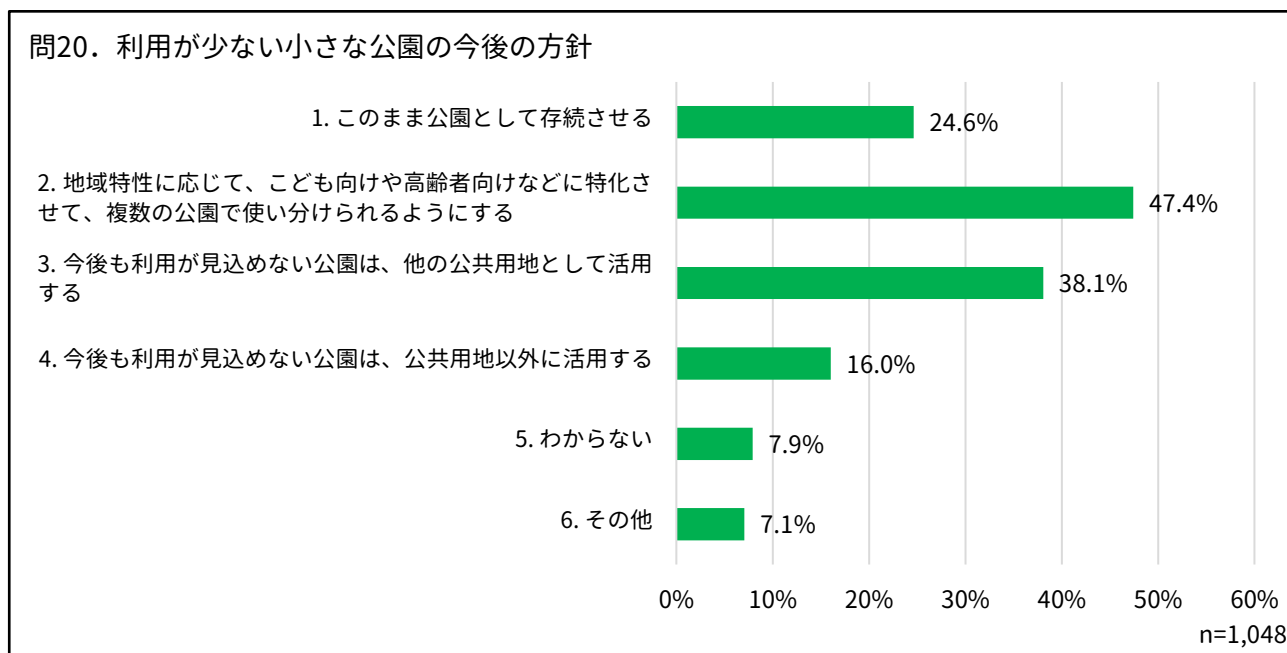
問19. 小さな公園の今後の方向性



小さな公園に望むことは、「こどもたちが楽しく遊べる公園」(64.5%)が最も多く、次いで「ベンチや木陰でゆっくり休憩できる公園」(54.8%)、「散歩が楽しめる公園」(29.4%)、「季節を感じられる公園」(26.4%)、「避難場所となるなど災害時に役立つ公園」(20.7%)が多い回答でした。

小さな公園には、こどもたちが遊べ、ゆっくり休憩できる公園としてのニーズが高く、加えて、散歩や季節が楽しめ、災害時に役立つ公園としてのニーズも高いと考えられます。

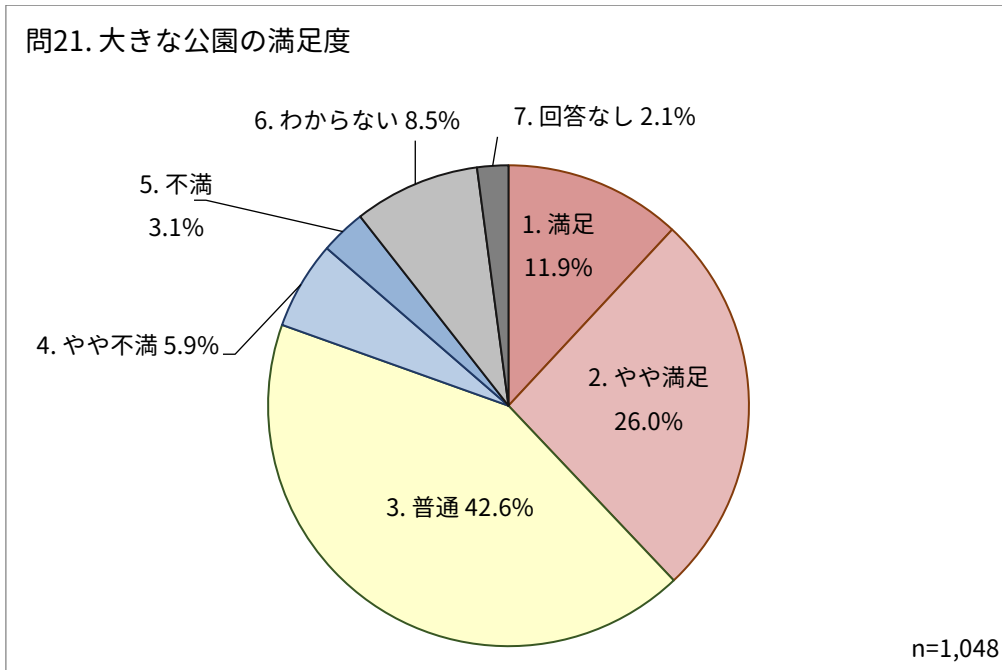
問 20.茨木市内には、あまり利用が見られない小さな公園が多く存在しています。これらの公園について、今後、どのようにしていけばよいと思いますか？（3つまで選択可）



利用が少ない小さな公園の今後については、「地域特性に応じて、こども向けや高齢者向けなどに特化させて、複数の公園で使い分けられるようにする」(47.4%)が最も多く、次いで「今後も利用が見込めない公園は、他の公共用地として活用する」(38.1%)、「このまま公園として存続させる」(24.6%)が多い回答でした。

利用が少ない小さな公園については、公園としての存在を担保しつつ、何らかの改善策が望まれています。特に、公園の機能や公園以外の機能を変えて公共施設として有効活用をすることが望まれています。

問 21.茨木市の大きな公園について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）

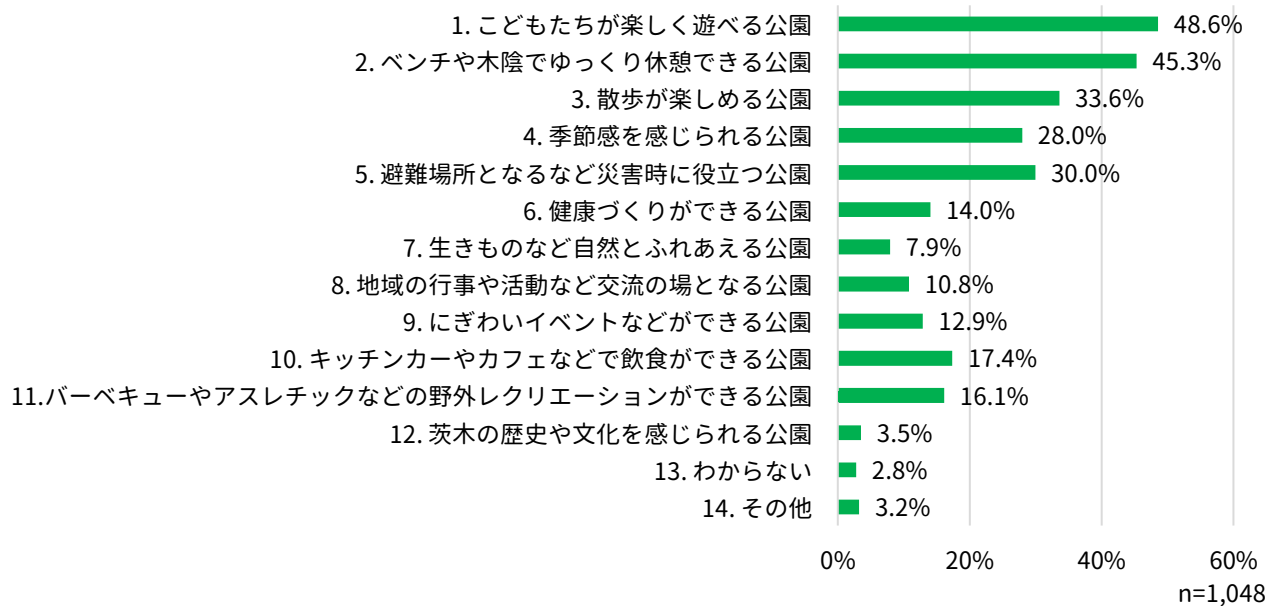


回答者の42.6%が「普通」と回答しています。「満足」と「やや満足」の回答者の合計は37.9%、「不満」と「やや不満」の合計は9.0%でした。

大きな公園については、回答者の約80%が、普通または満足・やや満足と思っています。

問 22.茨木市の大きな公園について、どのようになればよいと思いますか？（3つまで選択可）

問22. 大きな公園へのニーズ

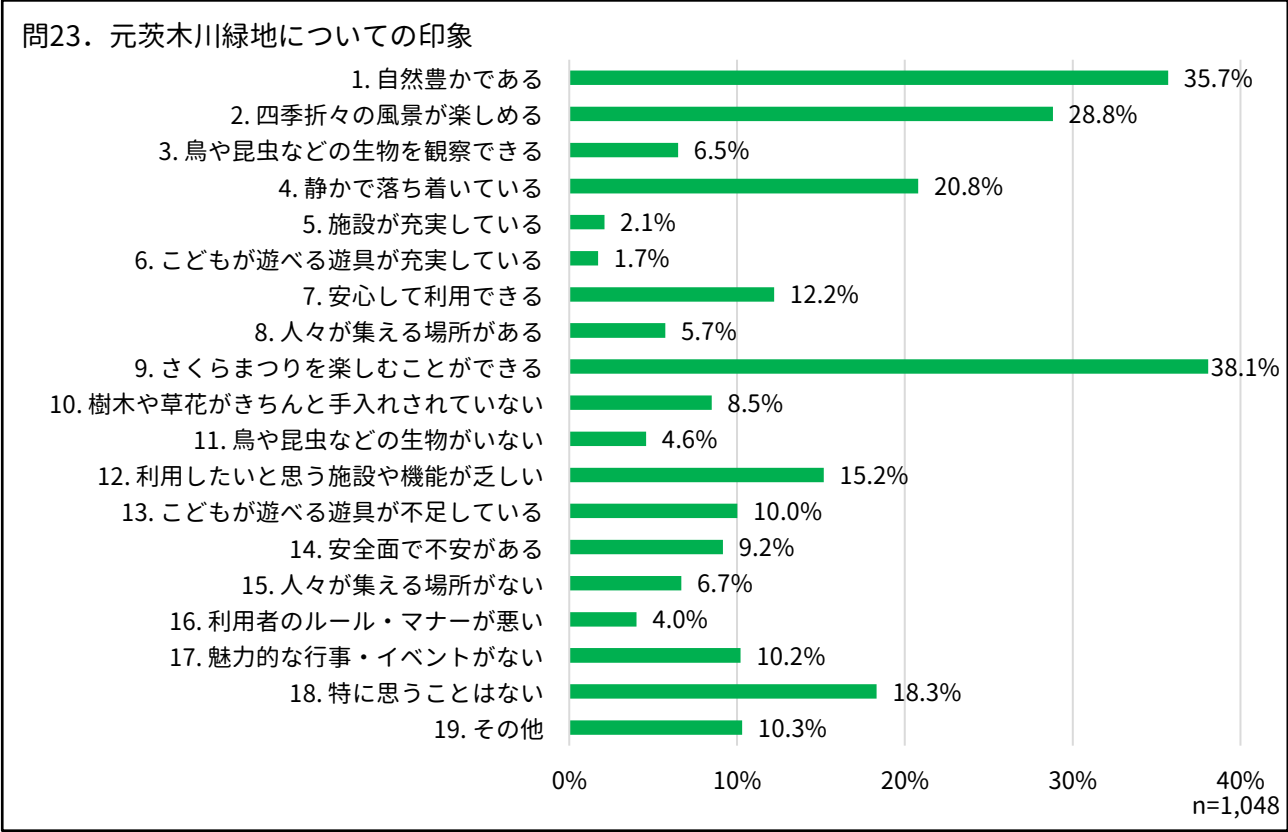


大きな公園に望むことは、問 19 の小さな公園に望むことと同様に、「こどもたちが楽しく遊べる公園」(48.6%) が最も多く、次いで「ベンチや木陰でゆっくり休憩できる公園」(45.3%)、「散歩が楽しめる公園」(33.6%)、「避難場所となるなど災害時に役立つ公園」(30.0%)、「季節を感じられる公園」(28.0%) が多い回答でした。

大きな公園においても小さな公園と同様に、こどもたちが遊べ、休憩できる公園としてのニーズが高く、加えて散歩や季節が楽しめ、災害時に役立つ公園としてのニーズが高いと考えられます。

V 元茨木川緑地についてお聞かせください

問 23.元茨木川緑地について、どう思いますか？（5つまで選択可）

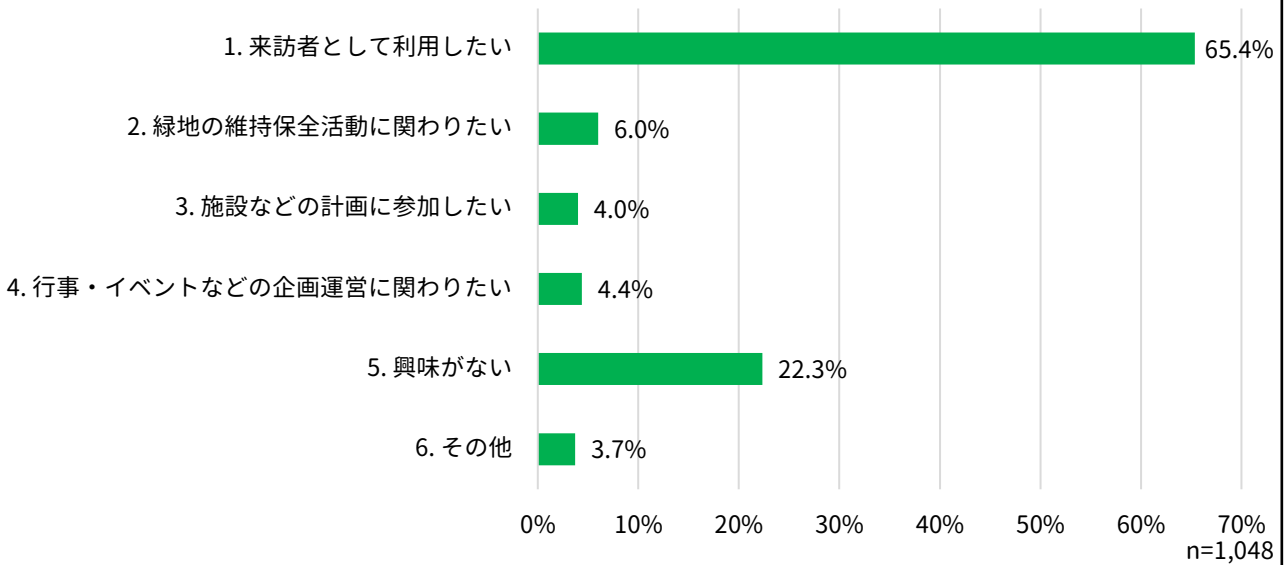


元茨木川緑地についての印象は、「さくらまつりを楽しむことができる」(38.1%) が最も多く、次いで「自然豊かである」(35.7%)、「四季折々の風景が楽しめる」(28.8%) が多い回答でした。

元茨木川緑地は、さくらまつりが楽しめ、自然が豊かで四季折々の風景が楽しめる場所であるという印象が強いと考えられます。

問 24.今後どのように元茨木川緑地に関わっていきたいと考えていますか？（複数回答可）

問24. 元茨木川緑地への関わりのニーズ

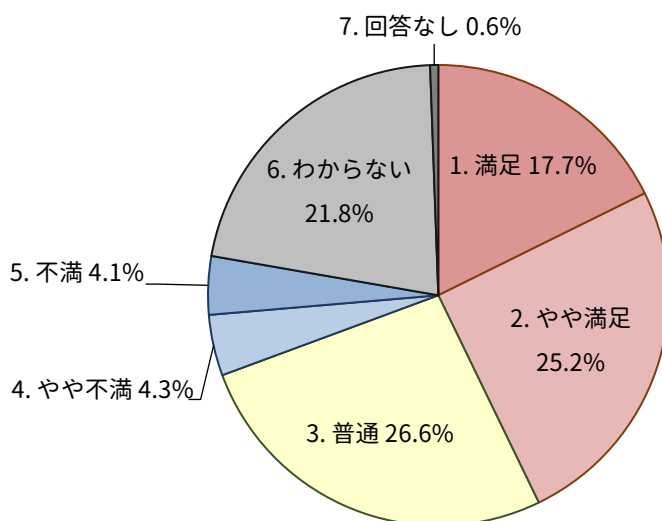


元茨木川緑地への関わりについては、「来訪者として利用したい」（65.4%）が最も多く、緑地の維持保全活動や、施設などの計画づくり、行事・イベントなどの企画運営に関わりたいと回答した人の合計は20%に満たない回答でした。

元茨木川緑地を訪れて利用したいというニーズは高く、緑地の環境の維持や保全、施設計画やイベント活用の企画への関わりのニーズは低いと考えられます。

問 25.市役所前に新設した「おにクル」と茨木神社に隣接する元茨木川緑地部分を、令和5年に改修しました。どのように思われますか？（1つ選択）

問25. 改修に対する満足度

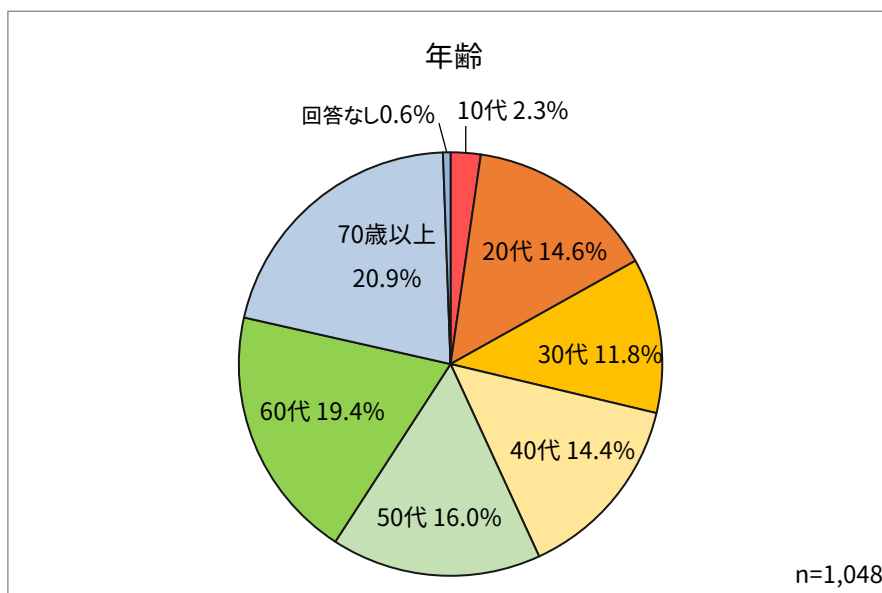


回答者の26.6%が「普通」と回答しています。「満足」と「やや満足」の回答者の合計は42.9%、「不満」と「やや不満」の合計は8.4%でした。

回答者の半数以上の方が、普通または満足・やや満足と思っています。

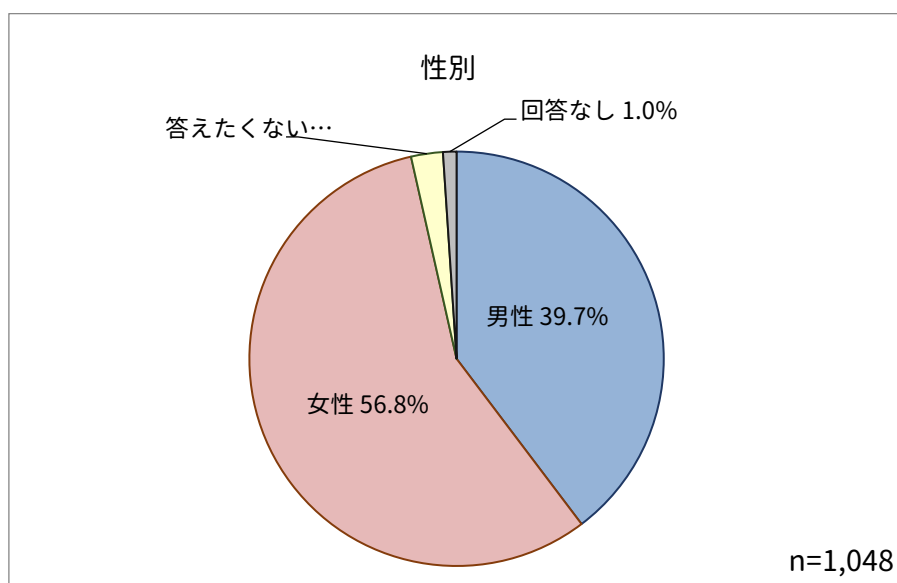
VII 回答者属性

年齢



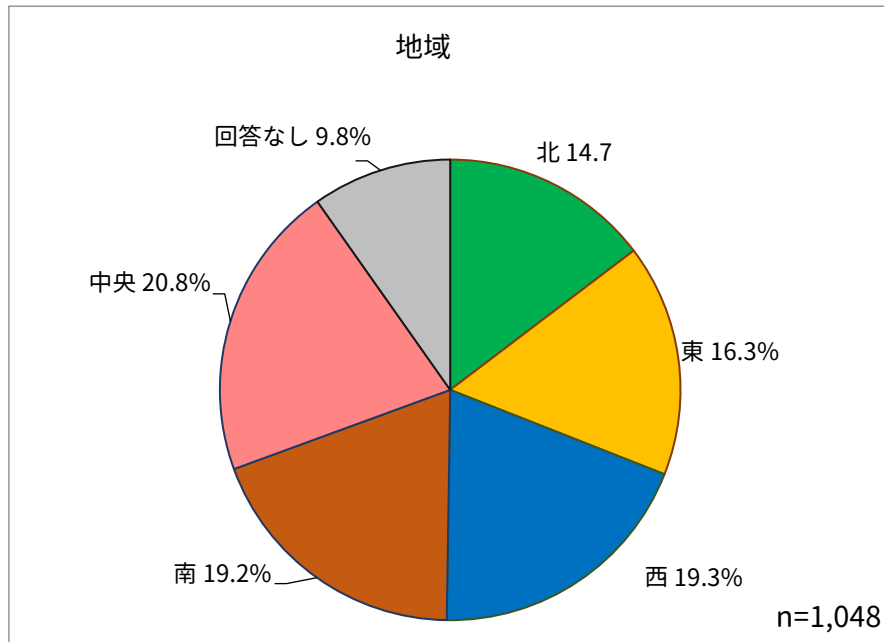
20代から70歳以上までの各年代の方に、同程度の割合で回答いただきました。

性別



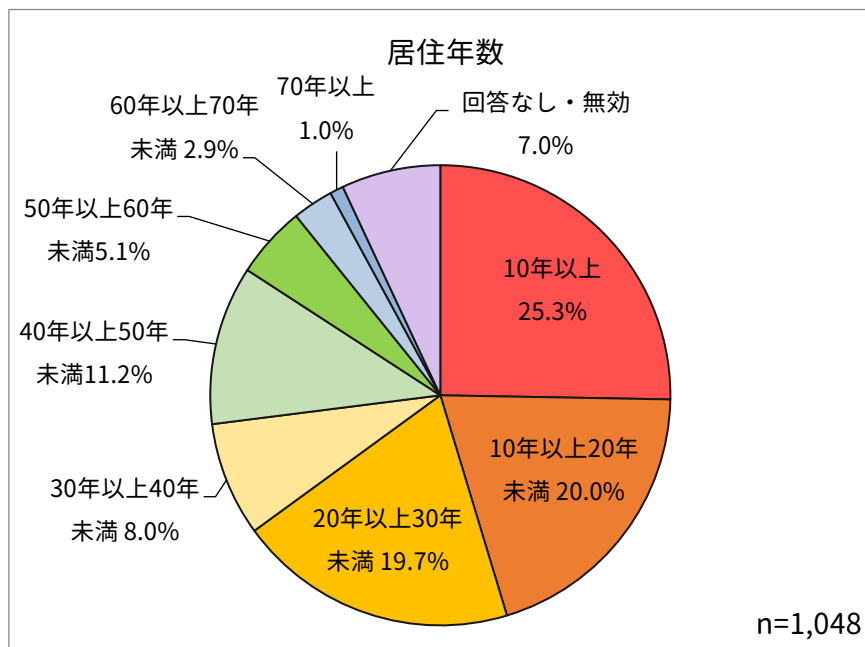
男性より女性にやや多く回答いただきました。

お住まいの地域



各地域にお住まいの方に、同程度の割合で回答いただきました。

居住年数



回答者のほとんどが10年以上市内に居住されており、10年以上30年未満の方が全体の55%、30年以上70年未満の方が27.2%でした。

参考資料3 改定の経緯

緑の基本計画の改定にあたっては、市民意見を聴取しつつ、市民、事業者、学識経験者、行政関係者等で構成される「茨木市みどりの施策推進委員会」における議論を重ねながら計画案を作成してきました。その後、計画案を公表し、パブリックコメントの募集及びその意見の計画への反映を経て改定を行いました。

実施日	実施事項
令和6年(2024年) 9月13日～10月18日	茨木市緑の基本計画に関する市民アンケート調査 (市民3,000人を対象に実施)
令和7年(2025年) 5月14日	第1回茨木市みどりの施策推進委員会 議事(1)茨木市みどりの基本計画について (2)茨木市のみどりの現況について (3)市民アンケート結果について (4)基本計画改定の視点(案)について (5)茨木市みどりの基本計画改定素案 骨子構成(案)について (6)パークマネジメントの検討に向けた現地調査について
令和7年(2025年) 6月26日	第2回茨木市みどりの施策推進委員会 議事(1)第1回委員会のふりかえり (2)茨木市のみどりの特徴と課題 (3)基本理念、みどりの将来像、基本方針(案) (4)施策方針(案)
令和7年(2025年) 8月21日	第3回茨木市みどりの施策推進委員会 議事(1)第2回委員会のふりかえり (2)改定計画の構成と地域別の取組の方向性(案) (3)具体施策、評価指標、推進方策(案) (4)公園利用実態調査結果
令和7年(2025年) 10月6日	第4回茨木市みどりの施策推進委員会 議事(1)第3回委員会のふりかえり (2)計画素案について
令和7年(2025年) 11月5日～11月28日	茨木市緑の基本計画(案)の公表、パブリックコメント募集
令和8年(2026年) 1月16日	第5回茨木市みどりの施策推進委員会 議事(1)第4回委員会のふりかえり (2)計画案及び概要版案について (3)パークマネジメントに向けた検討について

参考資料4 茨木市みどりの施策推進委員会 委員名簿

構成員区分	所属等・役職名	氏名（敬称略）
市民	公募市民委員	井下 晃介
	公募市民委員	浅井 咲嬉
学識経験者	大阪公立大学院教授	加我 宏之
	大阪大学院教授	福田 知弘
	龍谷大学准教授	石原 凌河
関係団体から 推薦された者	大阪府森林組合	都解 浩一郎
	茨木バラとカシの会	高原 富佐子
	茨木市こども会育成連絡協議会	古川 美奈子